

## 第10回U18世界陸上競技選手権大会(2017/ナイロビ) 日本代表選手選考要項

大会期日：2017年7月12日～16日

開催地：ナイロビ(ケニア)

### 1. 編成方針

国際大会での競技力向上よりも国際大会で経験を積むことを重視する。ユース世代で活躍している競技者を中心に編成するが、2020東京オリンピック、更にはその先のシニア国際大会を見据えて、タレントトランスファーを考慮した競技者を選出する。

### 2. 選考競技会

(1) トラック&フィールド種目 ※下記参考競技会(2)・(3)・(4)の種目以外

1) 第70回全国高校総体陸上競技大会都道府県及びその支部予選会(2017)

2) 2017年日本グランプリシリーズ各大会(2017)

3) 第2回アジアユース陸上競技選手権大会

(2) 男子3000m、男女2000m 障害

1) 第65回兵庫リレーカーニバル

2) 第2回アジアユース陸上競技選手権大会

(3) 男子砲丸投(5.0kg)、男子円盤投(1.5kg)、男子ハンマー投(5.0kg)

女子砲丸投(3.0kg)、女子ハンマー投(3.0kg)

1) 指定競技大会(現在調整中のため決定し次第随時公表する)

2) 第2回アジアユース陸上競技選手権大会

(4) 競歩

1) 第28回ジュニア選抜競歩大会(2017/神戸)

2) 第56回全日本競歩輪島大会(2017/輪島)

3) 第2回アジアユース陸上競技選手権大会

### 3. 選考基準

編成方針に基づき、下記の優先順位で日本代表選手を選考する。

(1) 男子3000m、男女2000m 障害、男女砲丸投、男子円盤投、男女ハンマー投以外

1) 選考競技会で、本大会の入賞が期待される記録を満たした競技者

2) 選考競技会で、国際陸上競技連盟(以下、IAAF)が定める参加標準記録を満たした競技者

3) 選考競技会以外の競技会で、本大会の入賞が期待される記録を満たした競技者

4) 将来、日本代表選手として活躍が期待され、強化育成部が推薦する競技者

(2) 男子3000m、男女2000m 障害、男女砲丸投、男子円盤投、男女ハンマー投

1) 選考競技会で、本大会の入賞が期待される記録を満たした競技者

2) 選考競技会で、IAAFが定める参加標準記録を満たした競技者

3) 将来、日本代表選手として活躍が期待され、強化育成部が推薦する競技者

### 4. 選考方法

(1) 参加標準記録を満たした競技者の中から、選考基準に則り強化育成部選考会議にて選考原案を作成し、強化委員長及び専務理事が承認する。

(2) 選考にあたっては、育成と普及に配慮して、各ブロックの極端な人数格差が無いようにする。

(3) 同じ優先順位内での資格記録の比較は、2017年度の記録を優先する。

### 5. エントリールール

(1) 参加標準記録の有効期間は2016年10月1日～選考会議(2017年6月上旬)までとする。

(2) 種目毎の代表は、IAAFエントリールール以内の人数とする。

(3) 対象者は、2000年1月1日から2001年12月31日生まれまでの競技者。

(4) 800mまでは、資格記録として手動の記録は認められない。

(5) 競歩種目の資格記録は、ロードでの記録も認められる。

### 6. その他

(1) 選考競技会は、選考会議(2017年6月上旬)までに終了した競技会までを対象とする。

(2) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は代表を取消すことがある。

(3) 選考基準に定める「入賞が期待される記録」の有効期間は、本大会の参加標準記録の有効期間に準ずる。

(4) リレー種目については、個人種目のエントリー状況などから総合的に判断し、派遣を検討する。

以上